

令和元年第3回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
9月10日(火)	午前	1	柳川 隆 議員		○	
	午後	2	大原 伊一 議員		○	
		3	土田 昇 議員		○	
		4	樋浦 恵美 議員		○	
11日(水)	午前	5	小林 由明 議員		○	
		6	埴 豊 議員		○	
	午後	7	田澤 信行 議員		○	
		8	山崎 雅男 議員		○	
		9	長井由喜雄 議員		○	
12日(木)	午前	10	宮路 敏裕 議員		○	
		11	タナカ・キン 議員		○	
	午後	12	大岩 勉 議員		○	
		13	岡山 秀義 議員		○	
		14	齋藤 信行 議員	○		

令和元年第3回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発 言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
1	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 健康福祉部行政について	(1) 燕市自殺対策計画のこと	<p>① 冊子の3頁、「健康の概念を「元気と病気のバランスが、その人らしく調和している状態」と定義」とあるが、どういうことなのか伺う</p> <p>② 冊子の5頁、「平成18年～28年の累計では男性151人、女性61人であり、男性の自殺者数が全体の7割を占めている」とあり、11頁には「平成21年～28年の本市の累計自殺者の割合を自殺未遂歴の有無別でみると、男性8%に比べ女性は24%と、未遂歴ありが3倍多く占めている」と述べられている。このことは場合によっては男女の比率が逆転することを意味しているが、そのことについての見解を伺う。</p> <p>③ 冊子31頁、当面の重点施策12項目ある中の2の「国民一人ひとりの気づきと見守りを促す」の内容で、自殺予防週間と自殺対策強化月間の実施とあるが、本市の実態について伺う。</p> <p>④ 冊子の51頁、1の数値目標が記されている表を見ると、確かに2026年度に30%減少するとなっているが、その具体的方策について伺う。</p>
		2. 選挙管理委員会の業務について	(1) 先の参議院選挙のこと	<p>① 先般行われた参議院選挙での選管の不手際に関しては、すでに職員の処分も実施されているが、一つの選挙で3件ものミスがあることは容易に看過できないところであり、改めてこの3件の発覚状況と原因について伺う。</p> <p>② 「職員の処分について」という文書の中の処分理由の最下段で「再三にわたり注意喚起があったにもかかわらず」とあるがいつどのように行われたのか伺う。</p>
		3. 産業振興行政について	(1) 産業史料館のこと	<p>① 6億もの巨費を投じこの4月にリニューアルオープンした産業史料館であるが、直近数カ月と工事のため休館する前の数カ月の入館者数の対比について伺う。</p> <p>② いただいている産業史料館本館等改修設計概要についての6頁、最上段に太文字で「燕ブランドの根底にある価値を訴求」とあるが、この文言についての見解を伺う。</p>
2	大原 伊一 (一問一答方式)	1. 産業政策と税収について	(1) 国内有数の中小企業集積地として発展してきた本市のものづくり等の補助金制度と税収について	<p>① 2009年9月16日の政権交代により生まれた国民の信頼を見事に裏切った民主党、社会民主党による鳩山連立政権は、その後、民主党・国民新党へと連立政権が変化し、野田政権の2012年12月26日までの3年3カ月あまり、経済政策の失策等により自民党・公明党の連立政権が再び国政を担うことになった。</p> <p>国内産業にとってアベノミクスにより、経済の活力を取り戻してきている。本市の産業にとっても非常に重要な分岐点だったと思われる。</p> <p>産業構造の近代化や省エネ化に向け近年で言えば、ものづくり補助金等、多くの補助事業が採択されてきていると思うが、この7年余で市内製造業が、年度ごとに採択を受けた件数と総額、並びに採択を受けた事業者の償却資産税の対応について伺います。</p> <p>(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	大原 伊一 (一問一答方式)	1. 産業政策と税収について	(1) 国内有数の中小企業集積地として発展してきた本市のものづくり等の補助金制度と税収について	② 年度ごとに高額な補助金による機材導入例ベスト5、並びに導入機材が償却資産として課税されているのかを伺います。
			(2) 課税当局の償却資産税の方針並びに台帳チェック体制について	① 補助金等で購入した償却資産税対象となる機材についてどのような税計算となるのか伺います。 ② 課税当局における各企業の償却資産台帳のチェックはどのように行われているのか伺います。 ③ 国・県・市などの補助事業で導入された多くの償却資産に該当する機械などが、年度ごとに各企業から提出される償却資産台帳に記載されていることの確認が取れているのか伺います。
		2. 10月の消費税増税による市内事業者の影響について	(1) 10月の消費税増税による事業者への問題点と対応について	① 課税業者と免税業者の変更点はあるのか。 ② 消費税の軽減税率制度に対応した経理、申告ガイドの最終ページの8項目目「免税事業者の方へ」の内容について詳しい説明を求めたいと思います。 ③ 8項目目の課税事業者と免税事業者に対する影響についてどのようにお考えか伺います。
		3. 市内医療機関の危機的状況について	(1) 少子化対策に重要な役割を担う入院出産のできる医院の状況について	① 本市においても少子化の歯止めがかからず危機的状況であるが、子供を産み育てる環境の一環として、入院出産のできる産婦人科の充実が不可欠と思っていたが、市内で唯一入院出産のできる医院のスタッフが不足、年内一杯で診療だけにせざるを得ない状況であると聞いている。担当部局としての対応を伺いたい。
			(2) 市内に立地する総合病院の状況について	① 基幹病院開院前の燕市、並びに近隣市町村の人口・ベッド数、並びに1,000人当たりのベッド数について伺う。 ② 基幹病院開院後の燕市、並びに近隣市町村のベッド数、並びに現在の人口で換算した1,000人当たりのベッド数について伺う。 ③ 燕市にとって将来の総合病院の実態を踏まえると、県央地域の中で加茂市の2.8万人(平成27年国勢調査)の150床に対して、本市は約8万人(平成27年国勢調査)の人口を抱えるが、改築後の県立吉田病院は100から150床程度が見込まれている。市民に不安をあおるつもりもないし基幹病院の絶対なくてはならない重要性も認識している。 しかし、基幹病院ができることで、本市の医療環境が現状より後退を招きかねない状況になってしまわないか、平素の医療が危機的状況にならないのか疑問を抱いてしまう。本市としてこの実態をどのように捉えているのか、今後の対策について伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	土田昇 (一問一答方式)	1. 子どもの貧困解決へ	(1)市の対応について	<p>①平成29年8月に燕市・市教育委員会が「ひとり親家庭の生活実態に関するアンケート調査」を行いました。評価できる内容と私は思っています。37項目の内容と分析についてどのように感じてきたか、またその対応について伺う。</p> <p>②保育園の役割が今後も大変重要になってくると思います。現場の声を大切にしなければならないし、その点についてすぐ対応できる体制が求められると思うがその点について伺う。</p> <p>③市教育委員会の中に配置した専任の就学援助担当の職員についてどのように対応しているか伺う。</p>
		2. 県内の児童虐待について	(1)市の対応について	<p>①県内の児童虐待数が過去最多の2,793件と新聞報道されているが、市において児童相談所、警察、さらに弁護士等々の関係者からの情報があったのかなかったのか、それ以外の「心理的虐待」「身体的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」などの件数とその対応についてどのようになっていたのか伺う。</p> <p>②来年4月から、親による子どもへの体罰を禁止する改正児童虐待防止法と、改正児童福祉法が施行される予定になっているが、市としてどのように関係するのか、また、どのように周知して指導していくのか伺う。</p> <p>③相談件数が今後も増え続ける可能性があるという報道されているし、児童相談所の体制強化が強く求められると思う。職員の増員等も含めて発言、行動すべきと思うがその認識について伺う。</p>
		3. 農業問題について	(1)農地の維持・管理について	<p>①2013年に「農政改革」ということで、各都道府県に「農地中間管理機構」が設立された。この機構が先頭に立って農地の集積を進め、現在の「大規模農家」や「農業生産法人」などが各集落で多くなってきたというのが現状であると思います。大規模農家であれ、法人組織であれ、受けた以上は農地の維持・管理という大きな責任が出てまいります。</p> <p>各集落に迷惑をかけることが大前提になりますが、そのような状況ではない田んぼも多々見受けられますが、市としてどのような認識なのか伺います。(現場を確認しているか)</p> <p>②2013年より現在まで「農地中間管理機構」で集積した面積はどのような状況か伺う。</p> <p>③今後は家族農業や小規模経営を大切にしないと地域農業は衰退していくと思うが、どのように考えているか伺う。</p> <p>④担い手の減少で「耕作放棄地」がどのような状況か伺う。(旧市、町単位で伺う)</p>
		4. 大通川、大通川放水路の雑草、雑木の処理について	(1)維持管理の責任は	<p>①8月21日の早朝の豪雨で排水がいつもより悪くなっていると思い現場の確認に行った。常識では考えられないような雑草と雑木等々が排水の障害になっていることが確認できました。以前からこの問題が提起されていたと思いますが、どのように対処してきたのか、どのように説明してきたのか伺う。</p> <p>②大通川及び大通川放水路の雑草、雑木の処理が必要な距離についてどのように見ているのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 子育て支援について	(1) 放課後児童クラブについて	<p>①放課後児童クラブでは、放課後や学校休業日(長期休業日も含む)に、小学校1～6年生までの児童を対象に、保護者の就労等により家庭での児童の生活が困難な場合、保護者に代わり児童の生活指導や遊びの促進を行っています。</p> <p>利用料は、児童1人あたり月6,000円(2人目は3,000円、3人目以降は600円)、おやつ代は、児童1人あたり月2,000円としている。</p> <p>利用料とおやつ代について、保護者から「利用料等の負担が大きい」との声を聞いています。今後、利用料等を見直す考えはあるのか伺います。</p> <p>②おやつの内容については、燕市児童クラブにおけるおやつ提供マニュアルに沿って提供されていると思いますが、現状はどのようになっているのか伺います。</p>
		2. 健康対策について	(1) フレイル予防について	<p>①フレイルとは、加齢により心身が老い衰えた状態のことで、健常から要介護へ移行する中間の段階と言われています。フレイルに早く気づき、正しく治療や予防を行えば、元の健常な状態に戻る可能性があります。フレイル予防についての考えを伺います。</p>
			(2) 成人風しん予防接種事業について	<p>①1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性を対象に、2019年度から2021年度末までの3年間、抗体検査と予防接種が原則無料化される成人風しん予防接種事業について、本年3月定例議会で質問をさせていただきました。</p> <p>検査の対象となる人数は、3,913人であるとのことでした。2019年度は、40～47歳の男性に受診券を送付し、48～57歳の男性の希望者も市に連絡すれば、受診券が発行されるようになっていますが、これまで検査を受けた人数について伺います。</p>
5	小林 由明 (一問一答方式)	1. 地域の安全対策について	(1) 地域の危険箇所について	<p>①朝日大橋に接合する道路の、歩行者転落防止のための防護柵について、大人の頭でもすり抜ける柵の間隔のため、子どもの転落事故の発生を懸念する声が届いている。当該防護柵は、柵の間隔22cm、高いところでは2階建て住宅とほぼ同等であり、また、縦柵ではないためよじ登り易い構造になっている。好奇心で、柵の間から頭を出したり下を覗き込んだり、また、よじ登ってしまった子どもが誤って転落した場合、死亡するような重大事故となることは明らかである。その景観のよさから親子連れなどで散歩する姿も多く、また、芝生法面で遊ぶ子どもも見られるようになってきているが、市は当該箇所についての危険性を認識しているか。</p> <p>②新潟県に対し防護柵の形状変更も含めた安全対策を求め、また、市としても安全対策に取り組むべきではないか。</p> <p>③こうした地域の危険箇所の把握に、市はどのように取り組んでいるか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
5	小林由明 (一問一答方式)	2. 水道の塔について	(1) 水道の塔外壁の剥落について	<p>①旧浄水場配水塔「水道の塔」の外壁剥落について、発生時期、年度毎の発生状況、これまでの発生個所数とその規模、剥落部分の大きさから推測される剥落物の形状や重さ、人的物的被害その他の影響の有無とその内容、工事や維持管理の瑕疵の有無とその根拠、今回の件に対応する保証契約の有無、剥落発生の原因、大規模剥落発生可能性の程度、使用禁止となっている周辺駐車場の利用開始時期など、剥落に関する詳細な説明を求める。</p> <p>②年度毎の対応の内容と、対応に要した年度毎の費用の説明を求める。</p> <p>③今後の対応と抜本的解決についての考えを伺う。</p>
			(2) 水道の塔の価値と活用について	<p>①平成23年度に、決算額で約8,200万円という多額の工事を行ったが、その後当該施設は、市にとってどのような利益をもたらしたと考えているか。</p> <p>②文化財としてはもちろん、地域の象徴的な建築物であり、燕市の表情の一つでもある水道の塔について、今一度その価値と活用可能性について考え、まちづくりや観光などの観点からもその活用に取り組むべきと思うがいかがか。</p>
		3. 社会教育施設の利用について	(1) 社会教育施設の利用の今後について	<p>①既存の社会教育関係団体やスポーツ団体の継続的なボランティア活動によって、地域の文化およびスポーツ推進が支えられている歴史があるが、一方で、個人活動や、これまでにない種目や活動を行いたいと、新規にその活動場所を求める声は後を絶たない。</p> <p>スポーツも文化活動も多種多様なものがあり、これまではなかったそれら新しい活動を展開できる環境を作っていくことは、市民の活動の選択肢を広げるとともに、生きがいづくりや能力発揮の機会となり、豊かな地域社会を築くためにも必要なことだと考えている。</p> <p>定期的ではない個人の活動や、定期的継続的に行うことを目的とした新規の文化・スポーツ活動についても、その活動場所が確保されるよう取り組むべきと考えているが、市はどのように考えているか。</p> <p>②定期的継続的活動のため場所を押さえ活動している既存団体の中には、高齢化や少子化により団体の実質的な活動終了や、所属人数が極めて少なくなっているところがあると伺っている。それにより、他団体との施設の共同利用が可能な団体や、申請している利用回数よりも実際の利用回数が減少しているところもあると感じている。</p> <p>既存団体の活動実態を把握し、施設の共同利用や活動枠の返還などの協力を求め、新規活動などのための場所の確保に取り組んでいただきたいがいかがか。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	塙 豊 (一問一答方式)	1. 財政問題について	(1) 燕市にも導入された企業会計方式によるバランスシート作成により、今までの会計帳簿方式による決算書と比較してどのような成果を得ようとしているのか	①導入による費用は。 ②各課における、成果分析の手法について。 ③今後の市政運営にどのように生かしていくのか。
		2. 燕市の土地問題について	(1) 燕市の土地問題について	①現在の保有状況について。 ②宅地として十分なものと、地目として道路に分類されているが、現在は道路として使われていないもの、変形しさらに100㎡に満たないものの箇所数、および金額について。
		3. 教育問題について	(1) いじめ問題について	①早期発見、早期対応が一番重要であるが、なぜ学校での対応が遅れるのか、その対策と課題について。 ②一番難しいのが教師によるいじめ(不適切対応)であるが、燕市ではどのような対策を考えているのか。
7	田澤 信行 (一問一答方式)	1. 吉田駅構内のエレベーター設置について	(1) JR新潟支社からの提案について	①昨年12月の一般質問で吉田駅構内へのエレベーター設置について伺い、市長からはJRからの提案を以って、協議したいとの回答を頂きました。6月末にJRからの提案があったと聞いていますが、その提案内容について伺います。 ②提案に対する主管部署の見解を伺います。
			(2) 燕市の検討結果について	①燕市として、吉田駅へのエレベーターの必要性とJRからの提案に対する検討結果を伺います。
			(3) 2020年度の予算化について	①先の参議院選挙の結果から、国会内のバリアフリー化が急務で進められています。施設内のバリアフリー化は必然性があり、吉田駅構内のエレベーター設置もいずれ実施されるものと考えています。要は今やるか、先送りするかです。2020年度の予算化に対する見解を伺います。
		2. 公共交通機関について	(1) 公共交通機関に対する問題意識について	①高齢者の免許返納が推進されている現在の社会状況を踏まえて、燕市では公共交通機関の在り方について、どのように考えているか伺います。 ②スワロー号(やひこ号含む)の乗車実績から、現在の運用で十分であると認識しているか伺います。
			(2) 高齢者の移動手段の改善策について	①免許を返納した高齢者に対する優待措置(タクシードライバーなど)はどうなっているのか伺います。 ②免許を返納した高齢者の移動手段をどのように考えているか、また今後どのように改善しようとしているか伺います。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	田澤 信行 (一問一答方式)	2. 公共交通機関について	(3) 市内循環バスのネットワーク化について	①現状のスワロー号は一つのルートのみでの運行となっているが、横串を刺すような新規ルートを開拓し、市内循環バスのネットワーク化を考えたかどうか伺います。
		3. パブリックビューイングについて	(1) 世界的イベントへの市民参加の環境づくりについて	①今年9月20日からラグビーワールドカップが日本で開催されます。来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。地元の選手が出場する地域ではパブリックビューイングが開催され、地域が一体となって応援を行います。また、地元選手がいなくても地域に関係したスポーツや国・地域を応援するケースもあります。燕市もモンゴルのアーチェリーチームが合宿するなど深い関係にあると思います。 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、パブリックビューイングを計画したら良いと考えますが、本提案に対する見解を伺います。
8	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 県道燕分水線の安全対策未整備区間整備について	(1) 県道燕分水線(野本拡幅)事業化に向けて	①県道燕分水線(野本拡幅)においては、緊急に対処すべき交通安全対策を総合的に実施する観点から整備を計画的に進めるとともに、拡幅等の改築事業を積極的に推進し、安全水準の維持、向上を図る必要があると思うが市としての見解を伺う。 ②昨年11月8日の素案説明会、そして、今回7月22日に幹線道路である県道燕分水線(野本拡幅)に関する事業化に向けての説明会内容と今後の動向を伺う。 ③国道116号に接した幹線道路である県道燕分水線等を含め、直近の事故発生状況、交通事故死傷者数、事故率の高い区間について伺う。
		2. 待たれる吉田南地区約8.6ha土地区画整理事業について	(1) 吉田南地区の計画的な市街化の促進について	①土地を有効活用することは、地域が活性化するまたとない施策、機会かと思うが、宅地化の進む吉田西太田地区周辺の市街地に囲まれた吉田南地区の農振除外・用途拡大予定地の約8.6haに対して、取り組み状況について伺う。
		3. 農業情勢について	(1) 農業問題について	①県農業再生協議会の令和元年産米の需給安定化に向けた取り組みで、現状認識として作柄を平年並みとして試算すると生産量は57万トン。令和2年6月末の在庫量は17万トンに積み上がる可能性があるとし、新潟米の価格下落が懸念されている。令和元年産米の生産目標に対しての作付けはどのようになっているのか伺う。 ②令和元年水稲作付け目標面積率64.77%、転作実施面積率35.23%であるが実施状況はどうか。 また、中間管理事業、利用権設定等を利用した中で組織、法人、中核農家への委託先はどのようなのか。そして、作付けに伴う維持管理体制を市はどこまで把握しているのか伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	山崎 雅男 (一問一答方式)	3. 農業情勢について	(1) 農業問題について	<p>③農業就業人口を維持、増加するには、「後継者・担い手育成支援」「新規就農促進」「定年帰農促進」「移住就農促進」等々、国県あげて取り組まれているが、市としての受け止め方と、ものづくり、産業のまちにあった燕市農業に対しての捉え方と対応策について伺う。</p> <p>④国連加盟国104カ国の賛成のもと、国際連合は2019年から10年間で「家族農業の10年」と定めることを決定。市として高い割合を占めるとされる家族経営を主体とする農業担い手が、将来に希望を持って営農に取り組まれるよう、担い手確保、育成や生産振興、消費拡大、農地基盤整備等々様々な施策の適時、適切な推進に、市としての現状認識と取り組み状況について伺う。</p>
9	長井 由喜雄 (一問一答方式)	1. 障害者に関すること	(1) 第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会への燕市の参加と関わり方について	①9月15日から、「第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」が開催されるが、燕市の参加と関わり方について伺う。
			(2) 障害者手帳所持者に対する燕市内施設の対応について	①障害者手帳は障害のある人が取得することができる手帳で、「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」を言うが、これらの手帳を持つ方々および介助者に対して、文化、スポーツ、芸術、娯楽の面から自治体や公共機関による入場・利用の減免を設ける自治体も多い。燕市においてはビジョンよしだの利用料に対するもの以外は目にしない。他自治体などで対象とされる類似施設における燕市の考え方を伺うとともに、燕市の積極的な促進策を求めるがいかがか。
			(3) 市役所の障害者駐車スペースに電話番号表記と無線チャイムの設置を	①車から降りた後、身動きがとれない方を見かけた。専用駐車スペースはあっても、障害を持つ方にとってはそれ以降の行動に困難を要する場合もある。介助依頼のための連絡電話番号を記載したプレートの設置と、無線連絡チャイムの併設置を求めるがいかがか。
		2. 小中学校における教材と安全な部活動について	(1) 個人購入の教材や制服について	①「教育は無償」と言われながらも、実際は義務教育となる小学校1年生入学から保護者の負担は大きい。主に個人購入とされる教材は何か。また、共用の例はないのか。共用可能なものについては学校所有とし、保護者負担の軽減をはかってほしいがいかがか。 制服については各中学校ごとに違うため、購入について少くない金額負担が強いられる。リユースの考えと仕組みづくりについて教育委員会の考えを伺う。
			(2) 中学校の部活などにおける熱中症予防について	①温暖化による影響は凄まじく、今夏も連日の真夏日となった。屋内外で行う主に中学校の部活動など、特にスポーツ部ではどのような対応としているのか。「熱中症」を防ぐための教育委員会の考えと対応策について伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	長井由喜雄 (一問一答方式)	3. 市民の命を守る県立病院、県央基幹病院について	(1) 県立病院の役割と市民の命・健康を守るために	① 県立病院の「赤字」を理由に、病院再編や基幹病院の縮小などの声が出始めているが、市民の命・健康を守るために市民と力を合わせて現計画の推進を県には責任を持ってやってもらう必要がある。県央地域の医療と県立吉田病院の役割について市の考えを伺う。
		4. 保育制度改変に伴う対応について	(1) 副食費の設定と徴収について	① 10月からの制度改変にともなう副食費の金額設定と徴収について、保育の認定と委託をおこなう立場から市の考えを伺う。現在の保育料設定の考え方に立ち、第2子においても副食費は半額とするべきではないのか、考えを伺う。
			(2) 燕市内における影響について	① 燕市内事業者で制度改変による影響は何か。
10	宮路敏裕 (一問一答方式)	1. 災害に強いまちづくりについて	(1) 市民の参加による防災施策について	① 本市では地域防災力の向上を目指し、防災リーダーの育成やハザードマップの周知、総合防災訓練の充実などに取り組み、市民の防災意識が上がってきていると認識するが、この間の成果と課題について伺う。防災リーダー養成講座の受講者の累計人数と、地域間のバランス状況、受講者への継続した育成支援、「リーダー会」の組織化の推進状況について伺う。 ② 女性のみを対象とした防災リーダー養成講座について、昨年度、今年度の受講状況や成果、課題について伺う。 ③ 昨年、全戸配布された洪水・土砂災害ハザードマップを理解するための出前講座が開催されているが、昨年、本年の参加人数など推進状況を伺う。 ④ いざ避難となれば、避難行動要支援者に真っ先に対応する体制であることは承知しているが、高齢者を在宅介護している市民からも「おぶって避難は不可能だ」という声もある。きめ細かい地域防災計画が必要だと考えるが、認識を伺う。
		2. 高齢者福祉について	(1) 加齢性難聴問題について	① 70歳以上の方の半数が加齢性難聴の症状に至り、日常生活を不便にし、会話が成り立たなく自閉的となり、それが認知症やうつの原因となるという指摘がある。高齢者が社会でいきいきと活動していくためにも、補聴器の必要性が高まっていくのではないかと、認識を伺う。 ② 身体障害者手帳を所持し、補聴器の購入補助制度を活用した方の人数と、自費で購入し補聴器を使っている方の人数が把握されていれば伺う。 ③ 高齢者が地域で交流を深め、いきいきと過ごせるよう、必要ならば補聴器の購入補助を国が率先してすべきと考えるが、一部の自治体が行っていることを鑑み、本市でも検討してはどうか伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 選挙の投票率について	(1) 18歳・19歳の投票率について	①総務省は、2019年7月23日、第25回参議院議員通常選挙の18歳・19歳の投票状況を発表した。抽出調査の結果、18歳が34.68%、19歳が28.05%で、全体では48.80%といずれも前回の参院選の投票率を下回った。燕市の18歳・19歳それぞれの投票率と全体の投票率を伺う。
			(2) 選挙啓発活動について	①選挙権が18歳に引き下げられた初の国政選挙が、平成28年に行われた第24回参院選で、18歳の投票率は51.28%、19歳は42.30%であった。また、翌平成29年の第48回衆院選は18歳50.74%、19歳32.34%と投票率が下がり、今回は18歳34.68%、19歳28.05%とさらに下がっている。これは、民主主義の基盤の崩壊につながると言っても過言ではないだろう。 市では、選挙権が18歳引き下げに伴い、これまでどのような選挙啓発活動を行ってきたか伺う。
			(3) 市議選について	①合併後の市議選の投票率について伺う。 ②立候補者全員の立会演説会は行えないか伺う。
		2. 市内の公共施設のエレベーター保守点検業務委託について	(1) 業者との契約形態について	①現在、本庁舎を含む23の施設でエレベーターが設置されている。本庁舎以外の22施設の保守点検業務委託について伺う。フルメンテナンスとPOGの違いについて伺う。 ②年間点検回数が2回・4回・12回とありますが、理由について伺う。 ③定期点検の時間がビジョンよしだは営業時間外ですが、他は全て営業時間内である。利用者が不便なことはなかったか伺う。
			(2) 保守料(メンテナンス料)について	①契約は随意契約によるものか伺う。 ②金額に差があるが理由について伺う。 ③燕図書館は平成18年度は664,272円、平成22年度は214,200円で、平成23年度は99,540円になり、平成25年から現在(平成30年度)まで378,000円となっている。このメンテナンス料の変動の理由について伺う。
		3. 国上寺本堂の壁画について	(1) 国上寺本堂の壁画について	①市の指定文化財の一部である本堂の四方の外壁に「イケメン官能絵巻」として、寺ゆかりの武将や良寛などを全裸に近い状態で描いたことが発端である。 絵巻の設置に関し、事前に原状変更の申請も行わず、作品を内側から木ネジを使用して固定するなど、文化財保護法からして考えられない暴挙であった。 燕市教育委員会は原状変更は認められないとの決定を行ったが、その後について伺う。
12	大岩 勉 (一問一答方式)	1. 参議院議員選挙での選挙管理委員会の怠慢さについて	(1) 参議院議員選挙での選挙管理委員会の怠慢さについて	①投票用紙の誤配布がありました。選挙管理委員会は選挙について「綱紀粛正」されているのか、職務を軽く考えていないか伺う。 ②庁舎内で政党機関紙「赤旗」と一緒に、街頭演説・個人演説会の案内チラシの「部内資料」が配布されていたが、選挙管理委員会は許可されていたのか、「ともにさく、新潟」の事務局は庁舎内部に設置されていたのか伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	大岩勉 (一問一答方式)	1. 参議院議員選挙での選挙管理委員会の怠慢さについて	(1) 参議院議員選挙での選挙管理委員会の怠慢さについて	③ 燕市長は庁舎内での選挙活動を一部の市議会議員には黙認され、また、推奨許可されているのか伺う。
		2. 飛燕夏まつりについて	(1) 飛燕夏まつりについて	① 燕地区・吉田地区・分水地区それぞれ開催されているが、一本化されるべきでないか伺う。 ② 燕地区の祭りは設立時の燕市民総参加を目的としてスタートしたものから矛盾し、核心が外れた傾向の祭りになってきているのではないかと伺う。 ③ 燕市職員互助会の「燕ばやし大会」参加者が11人と少なかったが、これでよろしいのでしょうか伺う。
			(2) 小学生の音楽パレードの中止は会場を変更しても開催するべきではないか	① 昨年は猛暑で、今年は雨天で中止でしたが、燕地区8小学校や園児のパレードは、多くの家族と市民が楽しみにしています。市民体育館会場に変更するなどとし開催すべきと思うが教育長の考えを伺う。 ② パレード参加の小学生・園児は何名予定されていたのか伺う。
3. 児童の登下校安全対策について	(1) 児童の登下校安全対策について	① 登下校時の見守りの指導役となる警察官OBらの「スクールガード・リーダー」の導入活用はされているのか伺う。 ② 燕市内の登下校見守り隊は現在何名学校区に協力登録されているのか、市役所職員OB・消防署職員OBの見守り隊参加者数を伺う。		
13	岡山秀義 (一問一答方式)	1. 子ども子育て支援について	(1) 児童虐待防止について	① 平成30年度の児童相談所による児童虐待相談対応件数が8月1日、厚生労働省から公表されました。件数は、15万9,850件で、前年度より2万6,072件(19.5%)増え、過去最多を更新しました。 全国的に増加の中、当市における児童虐待通告件数について伺います。 ② 通告を受けた後、解決に向けどのような対策をしているのか伺います。 ③ 子どもたちの未来のために、一人ひとりの尊い「いのち」のために、当市はこれから児童虐待防止にどのように向き合っていくのか伺います。
			(2) いじめ問題について	① 昨年、当市内中学校よりいじめが報告され、第三者委員会から報告書が提出されました。いじめ問題に関しては早期の発見・対応が大切であると考えます。本年度、当市におけるいじめ報告件数について伺います。 ② いじめ問題解決に向けどのような対策をしているのか伺います。 ③ 燕市いじめ防止基本方針を根幹に当市はこれからどのように、いじめ問題に向き合い活動していくのか伺います。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	岡山 秀義 (一問一答方式)	2. 燕市スポーツ振興について	(1) 燕市つばくろいきいきスポーツクラブについて	<p>① 中学校の部活動休みの日に、体力・技術向上したい生徒、他の運動に挑戦したい生徒のニーズに対応するために設立した燕市つばくろいきいきスポーツクラブですが、現状参加人数・スポーツサポーターバンク登録人数を伺います。</p> <p>② 燕市つばくろいきいきスポーツクラブでの成果、また運営にあたっての課題について伺います。</p> <p>③ 燕市つばくろいきいきスポーツクラブの今後についてどのような考えか伺います。</p>
14	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 燕市夏まつりについて	(1) 燕市夏まつりの現況についてと今後の方向性はどうなのか	<p>① 市夏まつりについて、現在の状態で問題があるのか伺います。</p> <p>② 他の自治体などでは、夏まつりの協賛金などが集まらなくて中止になるなどニュース等で聞くが、燕市はどうか伺います。</p> <p>③ 将来国道116号バイパスが開通した場合、花火大会はどうなるのか伺います。</p> <p>④ 他の自治体などでは、花火大会の協賛金などが集まらなくて中止、または警備等ができない理由で花火大会が中止などニュース等で聞くが、燕市はどうか伺います。</p>
		2. 児童の放課後の居場所について	(1) 児童の放課後の居場所について	<p>① 現在は、児童の放課後の居場所については、利用料金が無料の「なかまの会」と、利用料金を徴収する「児童クラブ」があるが、市内におけるそれぞれの数と利用人数、及び、児童クラブの利用料金について伺う。</p> <p>② 「なかまの会」は利用料金が発生しないということだが、利用料金を徴収する「児童クラブ」と、運営面等でどこに違いがあるのか伺う。</p> <p>③ 分水地区は、島上小学校が「なかまの会」、分水小学校と分水北小学校は「児童クラブ」であり、島上小学校と分水小学校は、それぞれ敷地内に「なかまの会」、「児童クラブ」がある。</p> <p>しかし、分水北小学校は児童館に児童クラブがあり、児童クラブを利用する児童は、放課後にそこまで移動しなければならず、低学年の保護者から安全面において心配の声が聞かれている。その点では、利用料金をとっていない島上小学校のなかまの会のほうが、敷地内に会があるので良い。児童数が減って空き教室も増えていると思うので、分水北小学校についても敷地内、または校舎内に児童クラブを開設することができないか伺う。</p> <p>④ 今後も、「なかまの会」と「児童クラブ」が混在した形で放課後の児童の居場所を確保していくのか。料金や運営方法、設置箇所を統一する等の検討はしていないのか伺う。</p>
		3. 燕市指定文化財について	(1) 国上寺の「官能絵巻」について	① 燕市教育委員会は、文化財調査審議会の答申を受けて、国上寺から出された現状変更申請について不許可通知を出したと聞いている。新聞等にも出ているが、不許可としたその理由を具体的に伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
14	齋藤 信行 (一括質問 一括答 弁方式)	3. 燕市指定 文化財につ いて	(1)国上寺の「官 能絵巻」につ いて	<p>②不許可の通知を受けた国上寺住職は、文化財指定の解除を求めているようだが、官能絵巻を外して原状復帰しなければ、燕市教育委員会としてどのような対応を行う予定なのかを伺う。文化財指定の解除もあり得るのかも伺います。</p> <p>③分水の宝でもある国上寺が原状復帰をし、文化財の指定を継続していくことが理想であると考えているが、その際は、官能絵巻等の撤去代金が発生するものと思われる。さらに、大金を投入して作成した官能絵巻をそのままにしておけないと思うので、本堂内に展示する等の方法が考えられるが、それにも費用がかかるとと思われる。それらの費用の一部を市が援助することを検討できないのか伺う。</p> <p>④市の文化財の維持管理は所有者にゆだねられる面が多く、所有者が維持管理費を払っていることが今回の問題にも関係していると思われるが、市の文化財の維持管理について、市として今回の件を受けて、何かしらの支援を検討していく心づもりはないか伺う。</p>